

## ばらのまち福山

「ばら」は、福山市民に最も愛され親しまれてきた花です。  
1985年（昭和60年）4月1日には、「福山市の花」に  
制定されました。



〔ローズふくやま〕

福山市が「ばらのまち」をめざすまでには、どのような歴史があったのでしょうか。

### 1 ばらのまちづくりの歴史

1945年（昭和20年）8月8日、福山市は空襲を受け、市街地の約8割を焼失しました。亡くなった人は、300人以上にもものぼります。

そんな戦争による傷が、まだ福山のまちや人々の心に残る1950年代半ば、「荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう。」を合い言葉に、南公園（現在のばら公園）付近に住む人たちが、ばらの苗約1000本を植えました。

この1000本のばらの苗が、「ばらのまち福山」のスタートなのです。



〔ばらの苗を植える人たち〕



「ばら公園」にある下の碑は、公園を完成させた市民活動の実績が評価され、1967年度（昭和42年度）の「全国美しい町づくり賞」を受賞した記念なんだよ。



この碑から分かるように、1000本のばらに込められた「福山のまちに潤いを、人々の心に和らぎを」という善意が、ばらとともに花開き、ばらのまちとして全国に認められたのです。

## 2 ばらのまちの取組

### (1) 「ばら」のある暮らし

福山市内の至る所にある小さなばら花だん。それらの多くは地域の方々が世話をしているもので、道行く人々の心を和ますとともに、福山市民の大切なふれあいの場にもなっています。

「ばらのまち 福山」の魅力の一つは、市民の身近な場所にあるばらが、くらしに彩りを添えていることではないでしょうか。



[アニバーサリーふくやま]



[商店街の中で]



[地域の公園で]



[学校の校庭で]

### (2) ばらのまち福山

福山では、100万本のばらが咲き誇るまちとなるよう、多くの市民や企業が協力して「ばらのまちづくり」に取り組み、市制施行100周年の年〔2016年(平成28年)5月末現在〕に「100万本のばらのまち」を達成しました。

2015年(平成27年)には、「福山市ばらのまち条例」を制定しました。1956年(昭和31年)に「第1回ばら展示会」(現在のばら祭)が開催されたことを記念して、5月21日を「ばらの日」と定め、ばらのまちづくりへの理解と関心を深める日としています。

福山ばら会の詳しい活動は、

<http://www.fukuyama-barakai.jp/> を見てね。



#### [福山ばら会 石井会長のお話]

今福山では、春から秋にかけてまちの至る所でばらが咲き誇り、まさに、「日本一のばらのまち」になっていると感じています。これも昔から福山ばら会の先輩方が「100本のばらを育てる1人より、1本のばらを愛し育てる100人を」と目標にされ、ばら公園を始め公民館や学校で講習会を開いたり、地域花だんに出かけて行って、きれいなばらが咲くように指導をされたりしてきたおかげかなと思っています。

「ローズマインド」という言葉があります。ばらを育てることを通して育ててほしい「思いやり、優しさ、助け合いの心」のことです。ばらは、土と水と光があれば花を咲かせてくれます。それに愛情をかければ、もっときれいに咲かせることができます。





## 〔福山ローザリアンクラブ 井之上会長のお話〕

たくさんの福山市民に「ばらを育てることのすばらしさを知ってもらいたい。」という思いで活動を続けています。

霞・金江・深津小学校などのばら花だんの手入れをしたり、花園公園のばら花だんを春と秋に剪定したりしています。花園公園には、「ふくやま」と名の付くばらを栽培しています。

また、ばらの栽培に関する相談会や、ばら栽培の講習会を開催しています。

ばらを育てることは、一生懸命に世話をすることやきれいな花を咲かせることの喜びだけでなく、命を大切に作る心にもつながります。ばらに親しみ、関心を持って育ててもらいたいと思っています。これからも福山が誇るばらを、愛情をもって大切に育ててください。



## 〔山陽自動車道福山サービスエリア上り線「パヴァリエローズマインド福山」門田支配人のお話〕

高速道路のサービスエリアは、日本全国からお客様が訪れます。

美しく咲いているバラの花は、お客様の旅の思い出になります。また、きれいな花を見て心が穏やかになり、安全運転にもつながります。

立ち寄った人に「ばらのまち福山」を知っていただくため、エリアの従業員が心を込めて、毎日ばら園の手入れをしています。また、地元の人たちと交流を図るため、ばらのコンテストを開催したり、ばらを育てるための剪定や栽培の講習会を行ったりしています。

ばらを通じて、「優しい気持ち」の輪が広がるといいですね。



毎年5月には、福山ばら祭も開催されているね。  
ばら祭のことは、<https://fukuyama-matsuri.jp/barasp/> にも載っているよ。

### 3 これからのばらのまちづくり

#### (1) 「ばら」に込められた思い

「ローズマインド」という言葉を聞いたことがありますか。

「ローズマインド」とは、[思いやり・優しさ・助け合いの心] のことです。

「ばらへの慈しみが思いやり・優しさ・助け合いの心を育み、ばら作りは優しいまちづくりにつながる。」という考えから生まれてきました。

戦争で荒廃したまちに復興と平和への願いを込め、福山市民がばらの苗を植えたことから始まったばらのまちづくり。ばらを育てることを通して、「人とまちと平和を大切に」心が、1000本のばらの苗が初めて植えられてから、60年たった今もなお大切に受け継がれているのです。



〔プリンセスふくやま〕





## 被災地へ届けよう ローズマインド

〔思いやり・優しさ・助け合いの心〕

福山市では、「ローズマインド」を合い言葉に、いろいろな活動に取り組んでいます。

東日本大震災後には、被災地へ「ローズマインド」を持って、支援物資を届けたり、折り紙でばらをかたどった「折りばら」を送ったりするなど、復興の支援活動を行いました。

#### (2) 世界バラ会議福山大会

世界バラ会議は、世界40か国が加盟する世界バラ会連合の大会で、3年に1度開催するばらに関する国際会議です。大会には、世界各国からばらの研究者や生産者、愛好家、芸術家など、世界のばら関係者が集います。

2018年（平成30年）第18回世界バラ会議において、戦後60年以上に及ぶばらのまちづくりや“ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）”を大切に育ててきた福山市の取組が認められ、第20回となる節目の大会を福山市で開催することが決定しました。

福山市では、2025年（令和7年）5月に開催されるこの大会を通して、福山の心“ロー



〔第18回世界バラ会議コペンハーゲン（デンマーク）大会2018の様子〕



ズマインド”を世界中の人へ届けるとともに、50年後、100年後へと、個性ある豊かな「ばらのまち福山」を継承、発展させることをめざしています。



第20回  
世界バラ会議  
福山大会  
2025

WFRS 20th  
WORLD ROSE CONVENTION  
2025 in FUKUYAMA

〔第20回世界バラ会議福山大会 2025の  
ロゴマーク〕



世界バラ会議福山大会については、  
<https://wrc2025fukuyama.jp/>を見てね。

QRコードからも  
アクセスできるよ。



### (3) わたしたちにできること

福山市民の一人として、私たちに何ができる  
でしょうか。

まずは、市の花「ばら」やその歴史にふれることです。そうすれば、自然と身近な人や世の中に対して「ローズマインド」で接することができるでしょう。

みなさんの心の中には、どんな「ローズマインド」があるでしょうか。また、どんな「ローズマインド」を育てていきたいと思うでしょうか。

1000本のばらの苗から始まり、今日まで受け継がれてきた「ローズマインド」を、あなたの心の中でさらに育て、受け継いでいきましょう。



〔福山城〕



〔スマイルふくやま〕

